



木曾福島支所	福島6305番地	24-3777
日義支所	日義1600番地1	26-2283
開田支所	開田高原末川2797番地	42-3388
三岳支所	三岳6311番地	46-2117

障がい者交流事業

希望の旅「交流会」を行いました！



～ 希望の旅「交流会」で苔テラリウムづくりを行いました。～

下伊那郡平谷村から講師をお迎えし、一通り説明を受けた後は皆さん無我夢中！最初に土を入れ、その後6種類の苔を思い思いに配置していきます。白い砂で川を表現してみたり、お家から持参した小石を入れてみたり、かわいいミニチュアを入れたりして、自分だけの苔の世界観を楽しみました。

最後に完成したとても素敵な作品を皆さんで鑑賞し、一緒にご参加いただいた民生児童員さんとともに良い交流会となりました。



楽しく 元気に お家時間！

新型コロナウイルスが流行してから外出の機会が減ったり、外出する気持ちになれずにお家の中で過ごす時間が多くなったというお話も耳にします。外出を控える事で感染の予防は出来ても、生きがいや楽しさを感じにくくなり、気分が落ち込んだり、心身の不調を感じるという方も多いのではないのでしょうか。

そんな状況を逆手にとって、大好きな趣味や興味がある事、新しいチャレンジに取り組む事は、長くなったお家時間を楽しく元気に過ごす秘訣です。コロナ前から取り組まれていた事を続けることもお家時間の心の支えになります。

今回は皆さんが普段から、あるいはコロナをきっかけに取り組んでいる、お家時間の楽しみ方をご紹介します。

皆さんはどんな風にお家時間を楽しんでいますか？皆さんのお話もぜひお聞かせください。



コロナに負けず、元気で明るい気持ちで

福島 中澤洋子さん



新聞にマスクの型紙が載っていたのを見て作り始めたのがきっかけです。ご近所や福祉施設、中学校に配り、「コロナに負けずに元気で明るい気持ちになるように」と思いを込めて作っています。表地と裏地の柄を考えるのが楽しみで、「思いどおりの柄が見つかるのが気持ちいいのよね」と笑顔で話してくれました。最近は、観光客の方にお渡しできるように、旅館にもお配りして、外国の方にも喜んでもらえるように、和柄を考え工夫して作っているそうです。コロナで外出の機会が減ってしまいましたが、以前やっていたパッチワークをマスクに変えて好きな裁縫を楽しまれています。

頭フル回転！六十の手習い

関田 福田武正さん

60歳になってから、新たなチャレンジとして勉強をしながら漆塗りの作品作りをされています。

物づくりで形にしていく過程が好きで、長く木工作品を制作されていました。その後、漆に興味を持ち、漆芸高等学院で6年間勉強され、今も『漆ゆう会』に入って技術を見て学び、腕を磨いています。「見て学んだ技術を活かせるように、頭をフル回転させて黙々と制作しているのが楽しい。漆が乾きやすい夏は作業が進むので大忙し！」と嬉しそうにお話ししてくださいました。

漆の塗面を磨くための竹炭づくりにも取り組むなど、チャレンジを続けています。



試行錯誤が、楽しいよ！

日義 長島さん



10年程前にご近所の畑で回っているのを見かけて、家にペットボトルがたくさんあったので作ってみようと思ったのがきっかけで作り始めました。どうすればもっとよく回るのか試行錯誤を重ねながら作る事が楽しくて夢中になられたそうです。「今の時季は畑もあるので隙間時間や気が向いた時に作っている。缶ビールでもよく回るよ」と表情豊かに話してくださいました。長島さんの畑にある、色とりどりのモグラ脅しを立ち止まって見て行かれる男性にお手製のモグラ脅しを差し上げて、とても喜ばれた事もあるそうです。

喜んで使ってもらえると嬉しいです。

三岳 上村美枝さん

上村さんは15年以上前から和紙人形のしおりを作っておられます。その頃、和紙工芸をお友達とやっていた、和紙の細かい切れ端がもったいないと思いこのしおり作りを始めたそうです。

人形の着物は、振袖と小袖と2種類あり、小袖は後帯が見えるようにするなど工夫され、他にも細かい所に違いがあり手間をかけていらっしゃいます。

リウマチで不自由な指もあるそうですが、「この指は動かなくてもこっちはまだ使えるから、前向きに考えて作っているのよ」と話してくれました。お友達とお茶を飲んだり、しおりを作ったり「今が一番しあわせかな」と笑顔で話してくれました。



木工で便利グッズ

日義 Hさん



「日頃の生活の中でどうすれば無理なくできるのか工夫するのが好きなの」と、外に出ることが難しいこの方は家の中での移動や家事の道具をご自分で手を加え、使い勝手を良くされています。

「もともと木工が好きで、作っている時は面白くて時間が経つのを忘れてしまうよ」と笑顔で話してください、重たいものを乗せて運べるミニ台車をいくつも作っておられます。

中でも洗濯物を入れて運びながら家中歩ける車はHさん一押しの作品です！

木曾町お宝さがし～木曾町で見つけたつながり・支え合い～

御旅殿祭の準備



八幡宮例大祭の前日に、御旅殿祭が開田高原西野の大屋地区にある御旅殿（弥堂）で行われました。毎年、大屋・二本木・下村地区の方々が八幡宮例大祭の前に、こちらの御旅殿に年に1度旅して来られる神様をお迎えする準備をされています。弥堂内では、慣れた方に手順を教わって、細かい配置は以前の写真を見ながら準備を進めます。分かれて作業をしている草刈がひと段落したところで全員で休憩をとります。「普段からよく畑で一緒になっておしゃべりしたりお茶飲みをしているからみんな家族みたいだよ」と皆さん同級生のように楽しく雑談されている姿が印象的でした。

手話サークル「ミミ」 手話体験会 一緒に手話を楽しもう！ を実施しました。

手話に触れ、親んでもらう事を目的に、手話サークル「ミミ」による手話体験会が行われました。

初めての試みでしたが、大勢の方が参加してくださり、あいさつや自分の名前、歌などの手話の表し方を教わりながら体験しました。

指文字での名前の表し方は苦戦されている方もおられましたが、参加された方からは、「手話をやったことは無かったけれど、やってみると手話の由来が分かって面白かった」という感想をいただきました。

手話サークル「ミミ」の皆さんは、これからも多くの方に手話に関心と親しみを持ってもらえるように、自分たちもスキルアップしていきたいと意気込んでおられます。

また手話体験会を行う予定ですので、ぜひご参加ください。



★★★心配ごと相談所開催のお知らせ★★★

日 時：令和 4年 9月14日（水）13：00～16：00まで
場 所：木曾郡民会館（木曾町福島5808-3）

主な相談内容：法律相談（弁護士）・心配ごと相談（木曾福島地区民生委員）・行政相談・人権相談

◎法律に関する相談については、予約が必要となります。

法律に関する相談を希望される方は、9月13日（火）までに、お申し込みください。

また、木曾町社協では、松本弁護士会をはじめ、民生委員、行政相談委員、人権擁護委員、まいさぽ木曾と連携しながら、相談所以外でも相談を受け付けます。

お申し込みは
木曾町社協
☎26-1116まで